

1 単元名 世界の諸地域（ヨーロッパ州）

2 本単元の目標

- (1) ヨーロッパ州に暮らす人々の生活を基に、その地域的特色を自然、産業、生活・文化、歴史的背景等の面から大観し、理解する。〔知識及び技能〕
- (2) 地理的な事象を資料から読み取り、ヨーロッパ州の地域的特色とそこで生ずる課題を理解する。〔知識及び技能〕
- (3) 「もしあなたがイギリス国民なら、イギリスは再びEUに加盟するべきだと思うか」を、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色と関連付けながら、多面的・多角的に考察し、表現する。〔思考力、判断力、表現力等〕
- (4) ヨーロッパ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知① ヨーロッパ州に暮らす人々の生活を基に、その地域的特色を自然、産業、生活・文化、歴史的背景等の面から大観し、理解している。 知② 地理的な事象を資料から読み取り、ヨーロッパ州の地域的特色とそこで生ずる課題を関連付け理解している。	思① 「もしあなたがイギリス国民なら、イギリスは再びEUに加盟するべきだと思うか」を、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色と関連付けながら、多面的・多角的に考察し、表現している。	態① ヨーロッパ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校社会科地理的分野の内容B「世界の諸地域」に位置付けられている。空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、地域で見られる地球的課題の要因や影響を地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成すること、地域的特色や地球的課題との関係を理解することをねらいとしている。

(2) 生徒観

本学級の生徒を対象に、地理的分野「世界の諸地域（ヨーロッパ州）」の単元の学習前に、アンケート調査（令和3年*月*日実施、第1学年*組*人）を行った。「ヨーロッパ州についてどんなことを知っているか」という質問には、料理に関する記述をした生徒が*人、スポーツに関する記述をした生徒が*人、世界遺産や歴史に関する記述をした生徒が*人、ユーロが使えることを記述した生徒が*人、無解答が*人であった。「EUという組織について知っているか」という質問には、「聞いたことがあり、内容を知っている」が*人、「名前だけ聞いたことがあるが、内容は知らない」が*人、「名前を聞いたことがない」が*人であった。アンケートの結果から、本学級の生徒のヨーロッパ州やEUについての知識があまりないことが分かった。以上のことから、本学級でヨーロッパ州について学習を進めていく際には、生徒が関心をもちやすい生活や文化といった情報を活用しながら、規模が比較的小さい国が多いながらも、複数の国がまとまることで国際的な影響力を増した「EU」について関心をもち、学習の意欲付けを図りたい。

(3) 指導観

本単元では、社会的事象を多面的・多角的に考察する力を育むために、価値判断を重ねる単元を貫く学習課題の設定と考えたことを他者と伝え合い、比較し、深め合う学習活動に取り組む。

まず、導入において大まかな地域像を捉え、ヨーロッパ州が持つ国家統合に関わる課題から「もしあなたがイギリス国民なら、イギリスは再びEUに加盟するべきだと思うか。」という学習課題を設定し、課題意識を明確にもつ。次に、ヨーロッパ州について、事実や知識を捉え、それらを複数の観点や立場から考察することを通して、事象に対する自らの解釈を振り返りながら仮の判断を積み重ねていく。最後に、根拠を明確にしてEU加盟の立場を決め、考察した内容を他者と伝え合い比較する学習活動を通して、自らの判断を問い直し、様々な側面や立場から地域の将来像を総合して考えることができるようにする。これらの学習活動を通して、社会的事象を多面的・多角的に考察する力を育みたいと考える。

5 単元の指導計画（6時間扱い）

○指導に生かす評価

◎記録に残す評価

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価方法・留意点等
1	1	1 ヨーロッパ州について知っていることを発表する。 2 雨温図、分布図、写真などの資料からヨーロッパ州の自然、人口と民族、産業の特色について、雨温図、分布図、写真などの資料から概観し、地理的な事象をつかむ。 3 見いだした地理的な事象から疑問に思ったことを書く。 4 単元を貫く学習課題を設定する。 もしあなたがイギリス国民なら、イギリスは再びEUに加盟するべきだと思うか。 5 単元の学習計画を確認する。	○			・生徒の興味・関心が高まるよう、画像や実物資料を提示する。また、世界の諸地域において既習したイタリアなどの国の様子を復習する。 知①：ヨーロッパ州の自然環境等の特色を理解しているかについて見取り理解していない生徒には、学習班での意見の交流により、分からなかった特色を捉えさせて基礎的・基本的な知識を身に付けることができるようにする。【ワークシート】
	2	1 単元の学習計画を立てる。単元を貫く学習課題を解決するためには、何について調べればよいか見通しをもつ。 2 学習課題を確認する。 学習課題を解決するためには何について調べればよいのだろう。 3 EUとの関わりを軸に、ヨーロッパ州の農業や工業、人々の生活などについて疑問に思ったことを挙げる。 4 単元を貫く学習課題の予想を考える。 5 本時の学習の振り返りを記入する。				・5W1Hの視点をもたせることで、ヨーロッパ州やEUについて調べるために疑問に思ったことを整理できるようにする。 思①：学習課題について予想を立てられない生徒を見取り、前時のヨーロッパ州に関する資料を確認し、読み取った内容から意見をもてるようにする。【観察、ワークシート】
2	3	1 諸資料からヨーロッパ州の工業や交通網について関心を高める。 2 学習課題を確認する。 EUは、何のためにつくられたのだろう。また、どのような利点があるのだろう。 3 ヨーロッパ州で統合されてきた内容を、写真、分布図などの資料と本文を関連付けて読み取る。 4 ヨーロッパ州の国々がEUを設立した目的や、国境をこえた統合による利点について、EU、アメリカ合衆国、日本を比較した統計資料などを基に考察する。 5 単元を貫く学習課題の予想を考える。 6 本時の学習の振り返りを記入する。	◎			・ヨーロッパ州が統合を進めてきたことを、国境をこえた交通網や買い物や通勤、共通通貨などのさまざまな資料を関連付けて読み取ることができるようにする。 知①：ヨーロッパ州に暮らす人々の生活を基に、その地域的特色を自然、産業、生活・文化、歴史的背景等の面から大観し、理解している。 思①：ヨーロッパ州の国々が国境を越えて統合することの利点について、産業、人々の生活、交通の三つの視点から説明できているかを見取り、観点が不足している生徒には、他の面から書けることがないか促す。【ワークシート】

2	4	1 諸資料からEUが抱える課題について関心を高める。 2 学習課題を確認する。 EU加盟を喜ぶ人々と、EU離脱を喜ぶ人々がいるのは、なぜだろう。 3 EU加盟国間の格差や対立について、写真やグラフ、主題図から読み取る。 4 ヨーロッパ州における産業の仕組みの変化とそれにとまなう移民・難民への対応など、EUがかかえる課題について考察する。 5 単元を貫く学習課題の予想を考える。 6 本時の学習の振り返りを記入する。	◎	○	知②：地理的な事象を資料から読み取り、ヨーロッパ州の地域的特色とそこで生ずる課題を関連付け理解している。 思①：ヨーロッパ州が統合することの問題点や課題を、EU加盟国間の対立やEUと他地域との関係に着目して説明できているかを見取り、説明が不足している生徒には、例えば労働者の立場から考え、移民による影響などを考えることで意見をもてるようにする。 【ワークシート】
3	⑤ 本時	1 これまでの学習を振り返り、根拠を明確にしてEU加盟に賛成か反対かの立場を決め、ワークシートに記述しておく。 2 学習課題を確認する。 もしあなたがイギリス国民なら、イギリスは再びEUに加盟するべきだと思うか。 3 学習班で意見を交流し、お互いの立場と根拠を発表する。自分になかった視点や考えがあればワークシートに追記する。 4 話し合いを踏まえて、単元を貫く学習課題に対する自分の答えをワークシートに書く。 5 学習課題の各自の答えを発表し合い、全体で共有する。本学級における賛成、反対の票数と割合を出す。 6 本時の学習の振り返りを行う。	◎	◎	・イギリスがEU離脱を決めた実際の国民投票や、EU非加盟のノルウェーで行われた国民投票で、賛成と反対の割合はほぼ半分ずつであったことを紹介し、賛否両論があってもどちらの立場に立ってもよいことを伝える。 ・最終的な自分の答えを発表する際には、自分が選んできた過程やどうしてそのような考えに至ったかを伝えられるようにする。 思①：ヨーロッパ州の地域的特色や、地域で見られる地球的課題の要因や影響を産業、生活・文化、歴史的背景などの特色と関連付けながら、多面的・多角的に考察している。 【ワークシート】
4	6	1 学習課題を確認する。 ヨーロッパ州は、今後はどのようにまとまっていくべきか。 2 学習課題について、これまでに学習した内容を基にして自分の考えを書く。考えることが難しい生徒は、「EUのように国同士が統合することについて、どう思うか」という内容で考える。 3 学習班で意見を交流したあと、全体で意見を発表し、共有する。 4 単元全体の振り返りを行う。	◎	◎	・「持続可能な社会」や「ヨーロッパが地域全体でよりよくやっていくために」という視点をもたせる。 ・ヨーロッパ州での事象について、日本にも影響があることや、日本にも地域的な連携や協定があることに気付かせ、この問題が自分事となるように資料等を提示する。 態①：ヨーロッパ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 【振り返りシート】